⑪南加賀道路（本線ルート）
加賀市熊坂町～山代温泉南町間の全線開通

受賞機関　石川県 南加賀土木総合事務所
加賀市

キーワード　地域活性化、南加賀道路、自動制御によるICT建設機械

全建賞審査委員会の評価ポイント

南加賀道路（加賀市熊坂町～山代温泉南町間）の建設。小松空港や北陸自動車道と南加賀地域の温泉郷を結ぶ地域活性化に資する道路について、新技術・新工法の活用やICT建設機械の活用など効率的な施工に取り組んだ点が評価された。

1. はじめに

南加賀道路は、小松空港及び北陸自動車道の小松ICから加賀温泉郷を経て、加賀ICへ至る本線ルート27.9㎞と、本線ルートより分岐する粟津ルート4.7㎞より構成され、南加賀地域の振興と活性化に大きな役割を果たす極めて重要な道路であり、本県の「ダブルラダー輝きの美知（みち）」構想に南北幹線として位置付けられている。

南加賀道路全体計画図

2. 事業の概要

このうち、加賀市熊坂町から山代温泉南町間については、平成５年度より事業着手し、県と市でそれぞれ整備を進め、これまでに細坪町から山代温泉南町間が供用していたが、令和４年11月の熊坂町～細坪町間の完成供用により全線開通することとなった。

本事業は、事業着手後の社会情勢の変化を踏まえ、設計段階に立ち返った規格・構造の見直しや新技術・新工法の活用などについて検討を行い、道路事業の効率化や早期の完成が図られるよう様々なコスト縮減策を取り入れた。

その一つとして、国道８号との交差点部の高山跨線橋の構造については、当初ランプ２橋で国道に取り付く計画であったが、センターランプ１橋に集約することで、暫定２車線整備に要する事業費を縮減し、工期の短縮を図った。

高山跨線橋（センターランプ形式）

3. 事業の成果

今回の全線開通により、北陸自動車道の加賀ICから、国道８号を介さずに山代温泉や山中温泉へアクセスできるようになったことから、観光客をはじめ多くの方々に利用されており、加賀温泉郷をはじめとする南加賀地域の活性化や観光振興に大きく寄与するとともに、地震等による大規模な災害が発生した際には緊急輸送道路として、迅速な物資輸送や救援活動を支えることが可能となった。

また、全国に先駆けて、自動制御によるICT建設機械（油圧ショベル）を導入しており、そのモデル工事を大規模な切土や盛土を行う当該道路の工事現場で行っているほか、建設従事者を対象にICT技術の向上を目的とした講習会なども開催し、人材育成を図るなど、本県のICT技術拡大の一翼を担うことができた。

4. おわりに

最後に、平成５年度の事業着手から約30年間、本道路の整備に多大なるご尽力をいただいた関係者の皆様に改めて感謝申し上げる。

賛助会員　㈱ピーエス三菱、㈱北都鉄工